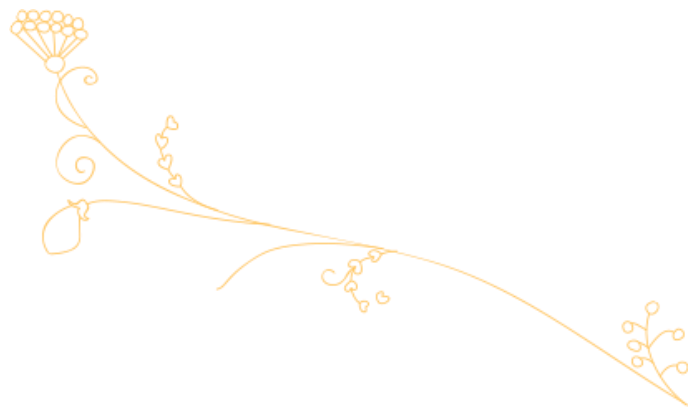




2021年12月期第1四半期 決算説明資料

2021年5月
株式会社セレス（東証第一部：3696）





1. ビジョンとビジネスモデル
2. 連結決算の概要
3. 成長戦略と事業概要
4. APPENDIX



1. ビジョンとビジネスモデル

インターネットマーケティングを通じて 豊かな世界を実現する

セレスは、社会インフラとなったインターネットを通して、様々なマーケティングサービスを提供することにより、豊かな社会生活の実現をはかります。

モバイルから生活を豊かに

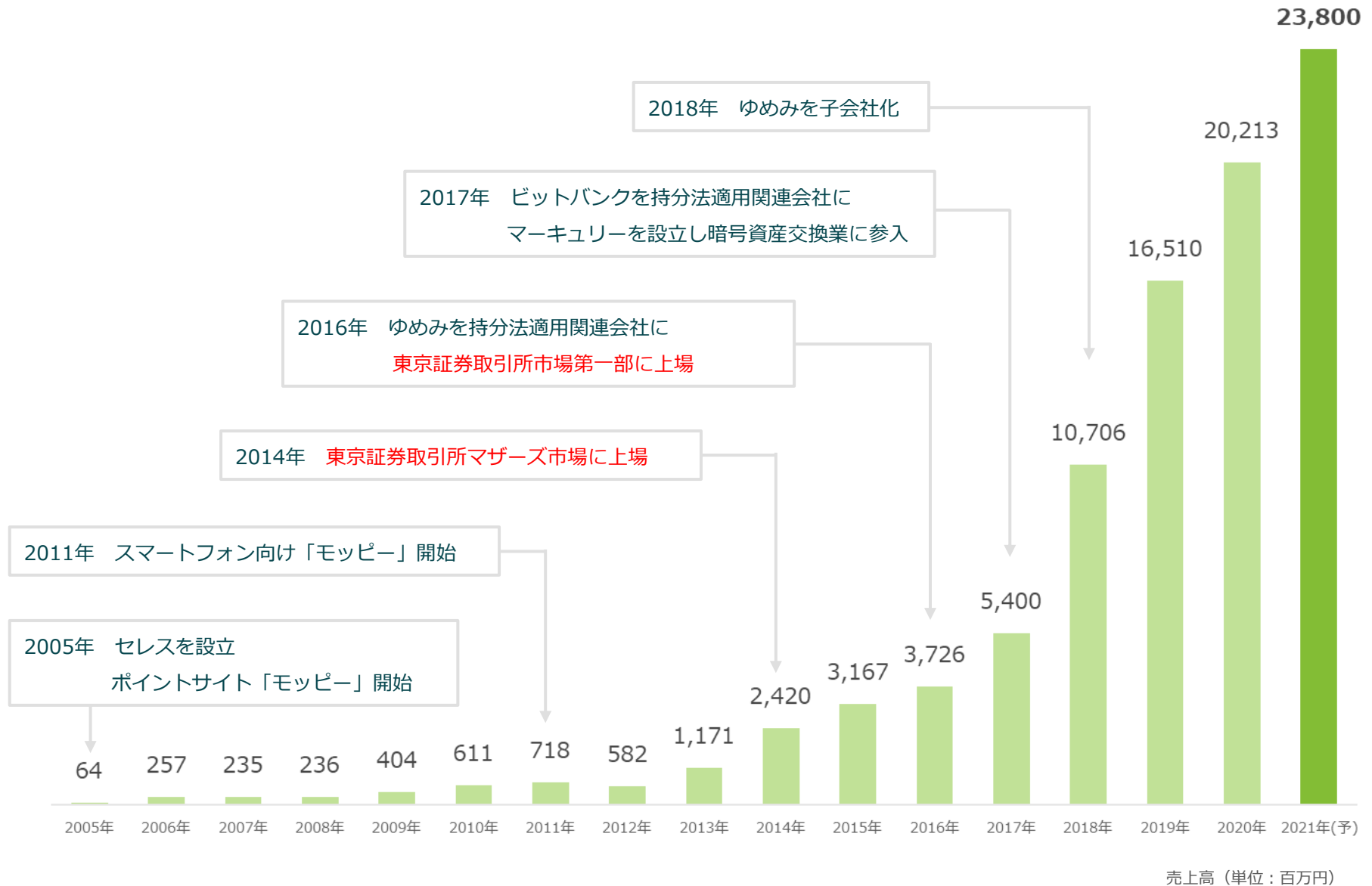


ceres

CERESとはギリシャ神話の「大地の女神」、「五穀豊穡の神」。
CERESはローマ名で、ギリシャ名はDemeter（デメテル）。

会社名	株式会社セレス
設立年月日	2005年1月28日
所在地	東京都世田谷区用賀四丁目10番1号 世田谷ビジネススクエア タワー24F
決算期	12月
資本金	18億5,752万円（2021年3月末現在）
代表者	代表取締役社長 都木 聡
従業員数（連結）	415名（2021年3月末／臨時雇用者含む）
事業内容	モバイルサービス事業 フィナンシャルサービス事業
連結子会社	株式会社ゆめみ、株式会社マーキュリー、株式会社バックス、株式会社ディアナ
持分法適用関連会社	ビットバンク株式会社




セレスの沿革



セレスの事業領域と主要サービス

ポイントメディア・アフィリエイトプログラムを中心とした「モバイルサービス」と「フィナンシャルサービス」の2セグメントより構成

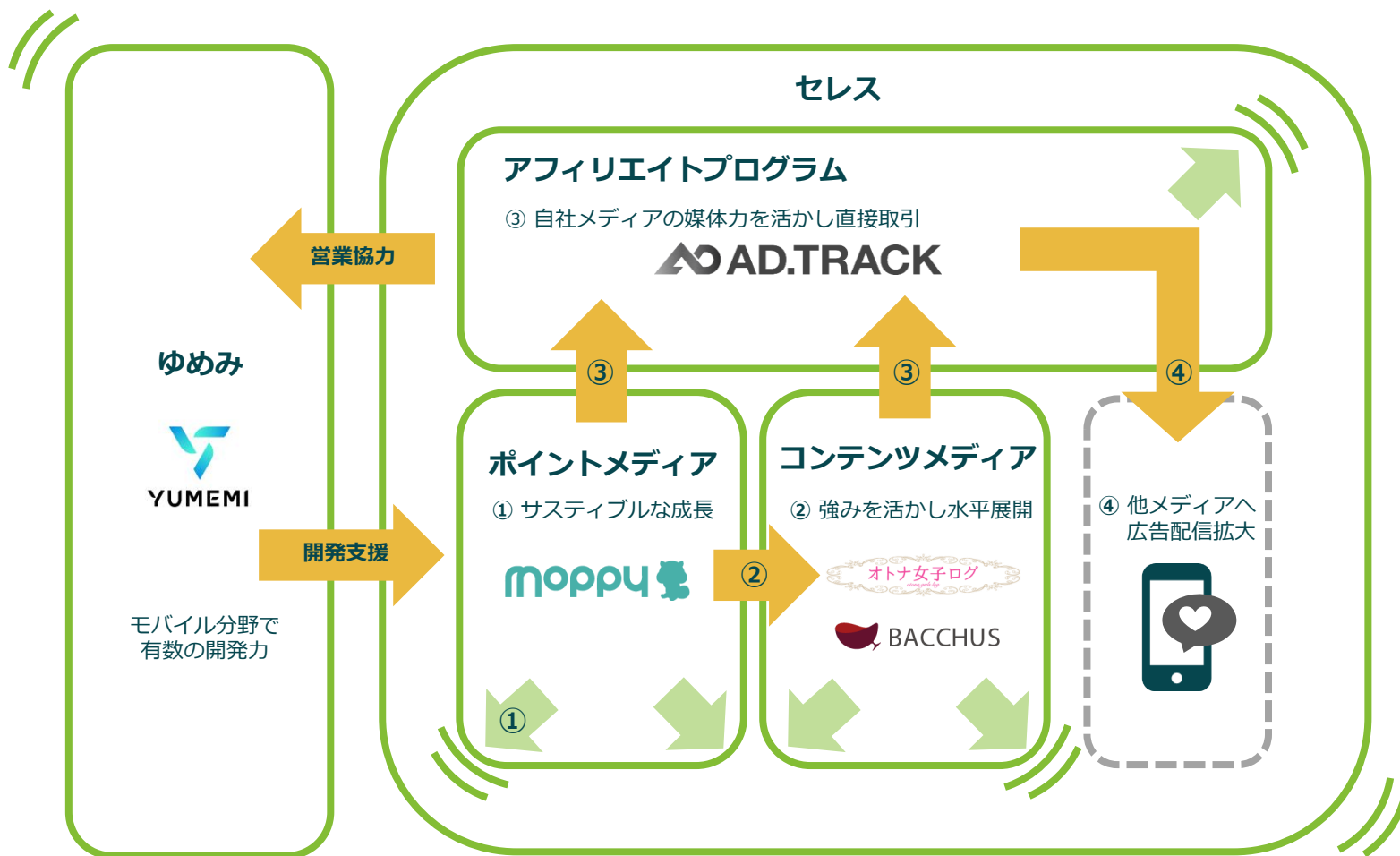
■ モバイルサービス事業

ポイントメディア	
アフィリエイトプログラム	
コンテンツメディア	     
デジタルトランスフォーメーション (DX)	

■ フィナンシャルサービス事業

ブロックチェーン関連	 
オンラインファクタリング	 
投資育成事業	CVC (コーポレート ベンチャー キャピタル)

※ 「ナゲット」との連携を図るため、「資金調達プロ」をモバイルサービス事業のコンテンツメディアからフィナンシャルサービス事業へセグメント変更



ブロックチェーン関連の事業領域

セレス

ブロックチェーン関連事業の研究・開発及びマーケティング支援・CVC投資



複数暗号資産にて
POSマイニングを実施
(マーキュリーに委託)



BTC海外送金サービス
137カ国に対応



暗号資産販売所
売却済みアーンアウト有



BTC・SNS送金サービス
(撤退済)



国内初のBCゲーム
(撤退済)

持分法適用関連会社
(27%)

子会社
(100%)

CVC投資

ビットバンク



国内最大規模の
暗号資産取引所を運営

取扱い通貨：17ペア

技術連携
カバー取引

マーキュリー



暗号資産販売所を運営
2021年3月開業

取扱い通貨：5ペア

協業/連携

投資先ベンチャー





2. 連結決算の概要

損益計算書の概要

(単位：百万円)	第1四半期 (2021年1-3月)	前年同期 (2020年1-3月)	前年同期比	第4四半期 (2020年10-12月)	前四半期比
売上高	6,467 (100.0%)	4,605 (100.0%)	+40.5%	5,631 (100.0%)	+14.9%
売上総利益	2,581 (39.9%)	1,313 (28.5%)	+96.5%	1,950 (34.6%)	+32.4%
販売費及び 一般管理費	1,532 (23.7%)	812 (17.6%)	+88.5%	1,702 (30.2%)	-10.0%
営業利益	1,049 (16.2%)	501 (10.9%)	+109.3%	248 (4.4%)	+323.1%
経常利益	1,852 (28.6%)	511 (11.1%)	+262.5%	508 (9.0%)	+264.3%
四半期純利益 ※1	1,339 (20.7%)	302 (6.6%)	+342.3%	97 (1.7%)	+1,272.6%
EBITDA ※2	1,920 (29.7%)	584 (12.7%)	+228.4%	574 (10.2%)	+234.5%

※1：四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示します。

※2：EBITDA = 税金等調整前四半期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

セグメント別売上高

(単位：百万円)	第1四半期 (2021年1-3月)	前年同期 (2020年1-3月)	前年同期比
売上高	6,467 (100.0%)	4,605 (100.0%)	+40.5%
モバイルサービス事業	6,078 (94.0%)	4,487 (97.4%)	+35.5%
ポイントメディア	2,405 (37.2%)	1,711 (37.2%)	+40.6%
アフィリエイト	1,722 (26.6%)	1,735 (37.7%)	-0.8%
コンテンツメディア ※1	1,201 (18.6%)	335 (7.3%)	+257.9%
ゆめみ	833 (12.9%)	704 (15.3%)	+18.3%
セグメント内の振替高 ※2	-84 (-)	- (-)	-
フィナンシャルサービス事業 ※1	416 (6.4%)	123 (2.7%)	+236.5%
セグメント間の内部売上高又は振替高	-27 (-)	-6 (-)	-

※1 「資金調達プロ」をモバイルサービス事業のコンテンツメディアからフィナンシャルサービス事業へセグメント変更

※2 モバイルサービス事業内取引を2021年1Qより考慮し集計



売上高は前年同期比1.4倍で過去最高四半期売上高を更新

- ・ポイントは広告需要増とユーザ数の増加により前年同期比40.6%増収
- ・コンテンツの記事広告メディアが前年3Qから堅調に推移し同257.9%と増収に貢献
- ・コンテンツのD2Cは前四半期での投資により垂直立上げに成功
- ・フィナンシャルでは投資育成事業で一部株式売却を実施

営業利益は前年同期比2.1倍の1,049百万円

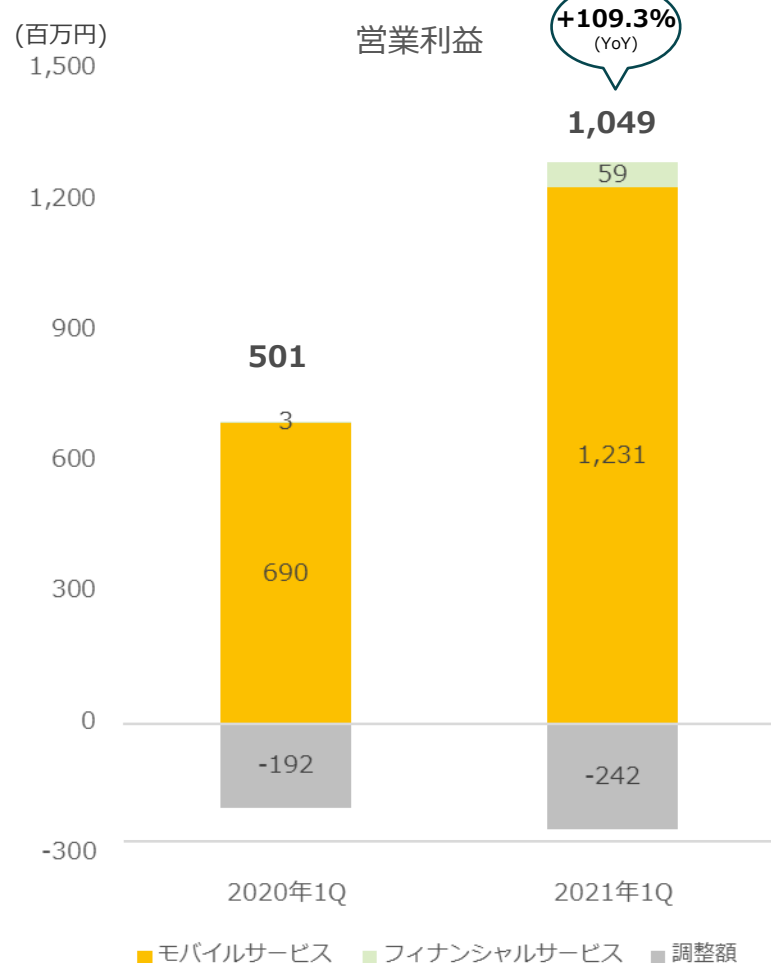
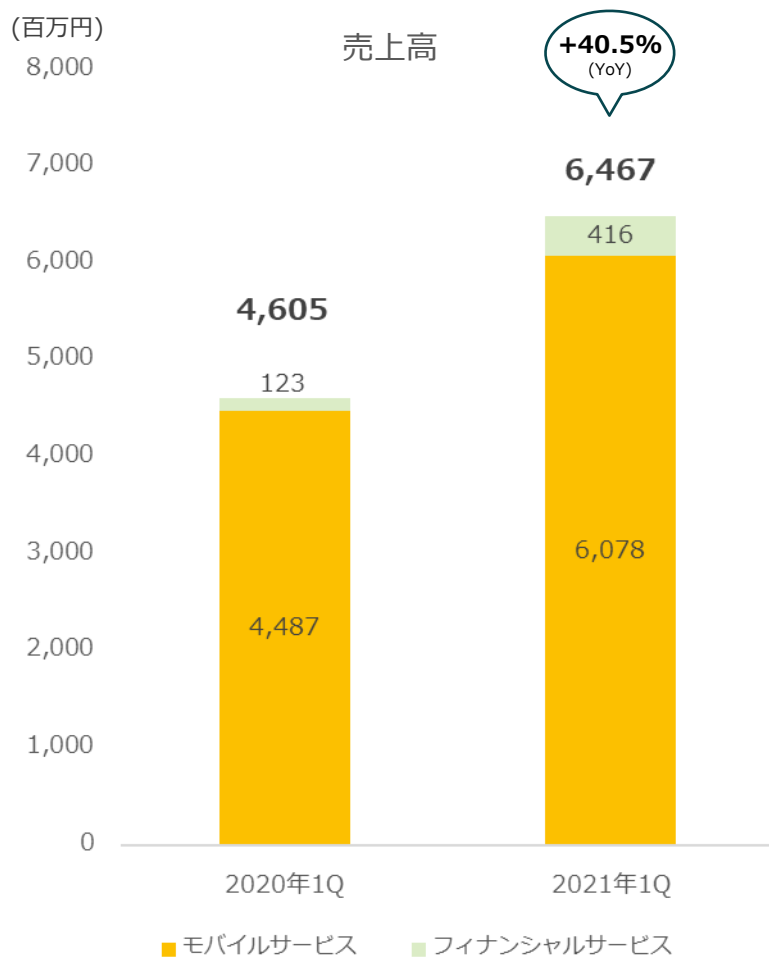
- ・ポイントは大幅増収と粗利益率の改善により増益をけん引
- ・コンテンツは記事広告型メディアの前年からの復活により増益に寄与
- ・ゆめみは稼働率改善とオフィスコスト削減効果で大幅増益
- ・フィナンシャルは投資育成事業での株式売却が子会社マーキュリーの赤字を補う

経常利益は前年同期比3.6倍の1,852百万円

- ・暗号資産市場の活況を背景にビットバンクによる持分法利益が569百万円に
- ・マイニング事業用の暗号資産評価益と一部株式売却益により233百万円計上
- ・EBITDAは前年同期比3.3倍の1,920百万円で中計目標の30億円に対し好調な滑り出し

売上高はポイントとコンテンツの好調により40.5%増収

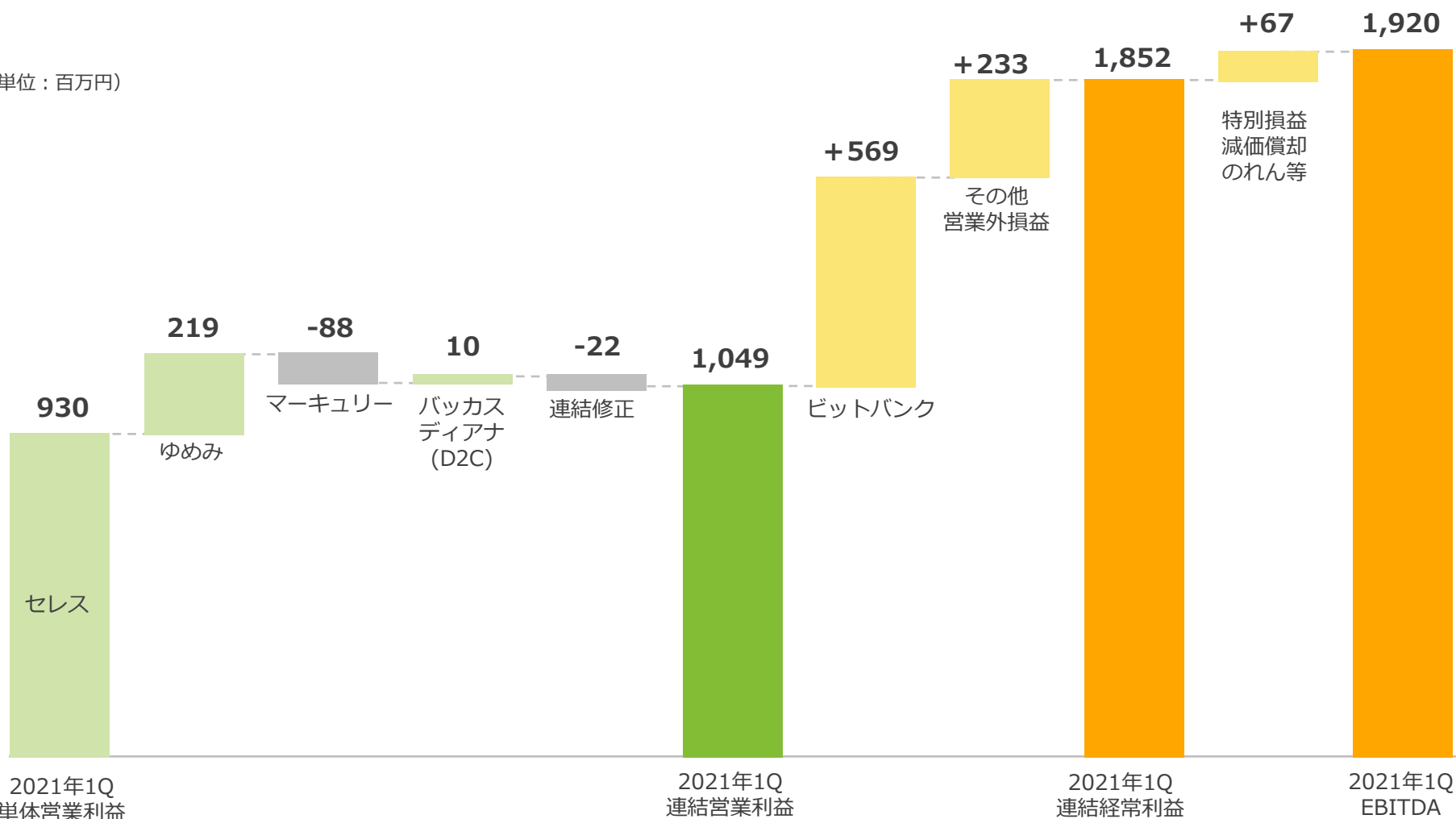
営業利益はポイント・コンテンツ・ゆめみ増益により前年比2倍超



※セグメント間の内部売上高又は振替高については、グラフに与える影響が軽微のため表記していません。
 ※「資金調達プロ」をモバイルサービス事業からフィナンシャルサービス事業へセグメント変更しております

セレス・ゆめみがマーキュリーの投資を吸収し営業利益10億超に ビットバンク・暗号資産評価益が経常利益・EBITDAの大幅増に貢献

(単位：百万円)



会社計画に対する業績の進捗状況

1Q実績

【会社計画値】

売上高

64.7億円

進捗率
27.2%

238億円

営業利益

10.5億円

進捗率
52.5%

20億円

経常利益

18.5億円

進捗率
71.3%

26億円

当期純利益

13.4億円

進捗率
83.7%

16億円

EBITDA

19.2億円

進捗率
64.0%

30億円

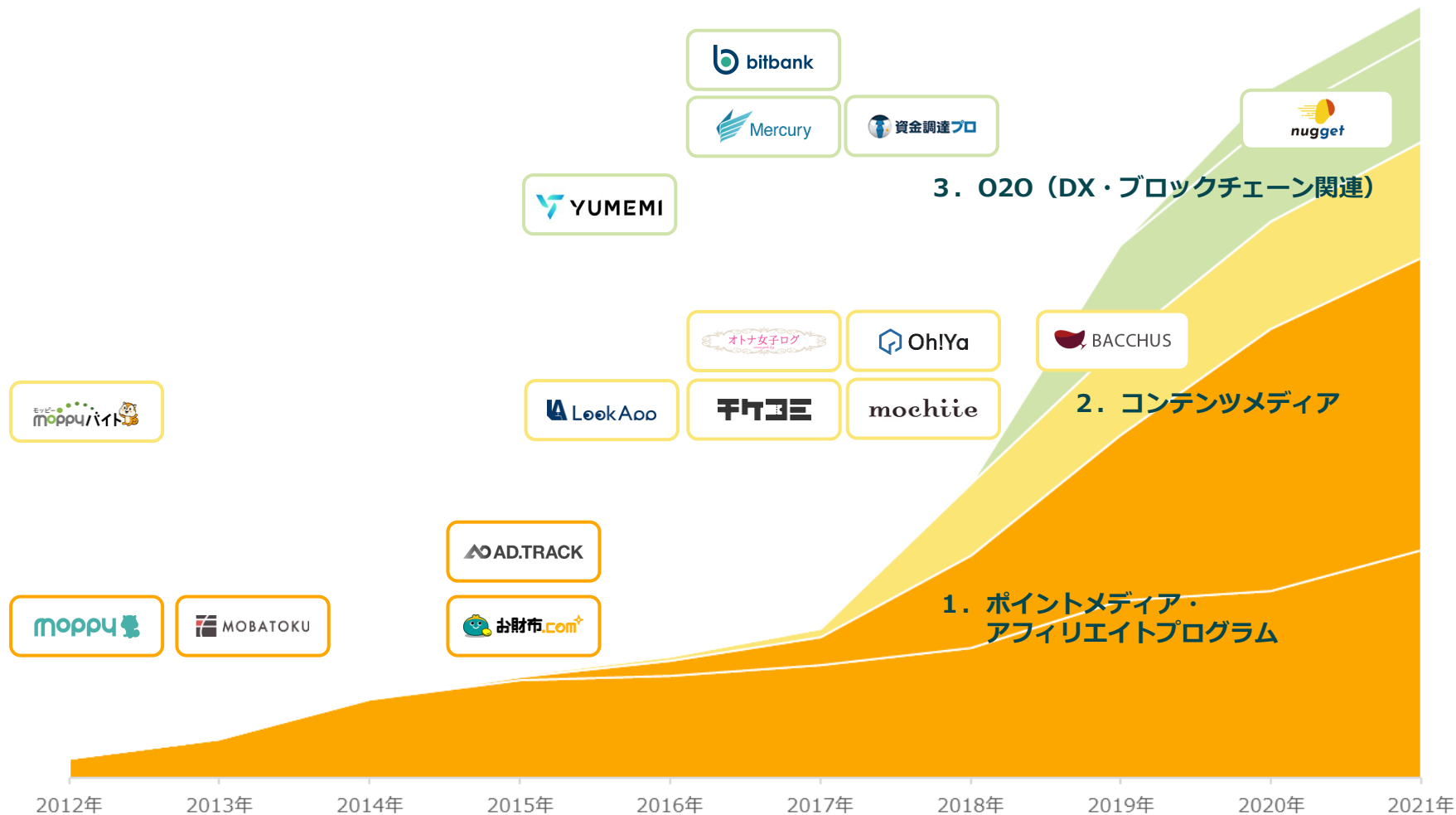
貸借対照表の概要

(単位：百万円)		2021年12月 第1四半期末	2020年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産		11,983 (69.7%)	11,517 (71.0%)	+465	売掛金 +698 現預金 -402 営業投資有価証券 +38
	固定資産	5,220 (30.3%)	4,709 (29.0%)	+510	関係会社株式 +569 投資有価証券 -44
資産合計		17,203 (100.0%)	16,227 (100.0%)	+976	
流動負債		7,678 (44.6%)	7,471 (46.0%)	+207	借入金 +376 ポイント引当金 +287 買掛金・未払金 -367
	固定負債	1,308 (7.6%)	1,663 (10.3%)	-354	長期借入金 -222 社債 -130
負債合計		8,987 (52.2%)	9,135 (56.3%)	-147	
純資産合計		8,215 (47.8%)	7,091 (43.7%)	+1,124	四半期純利益 +1,339 配当金 -197
負債・純資産合計		17,203 (100.0%)	16,227 (100.0%)	+976	

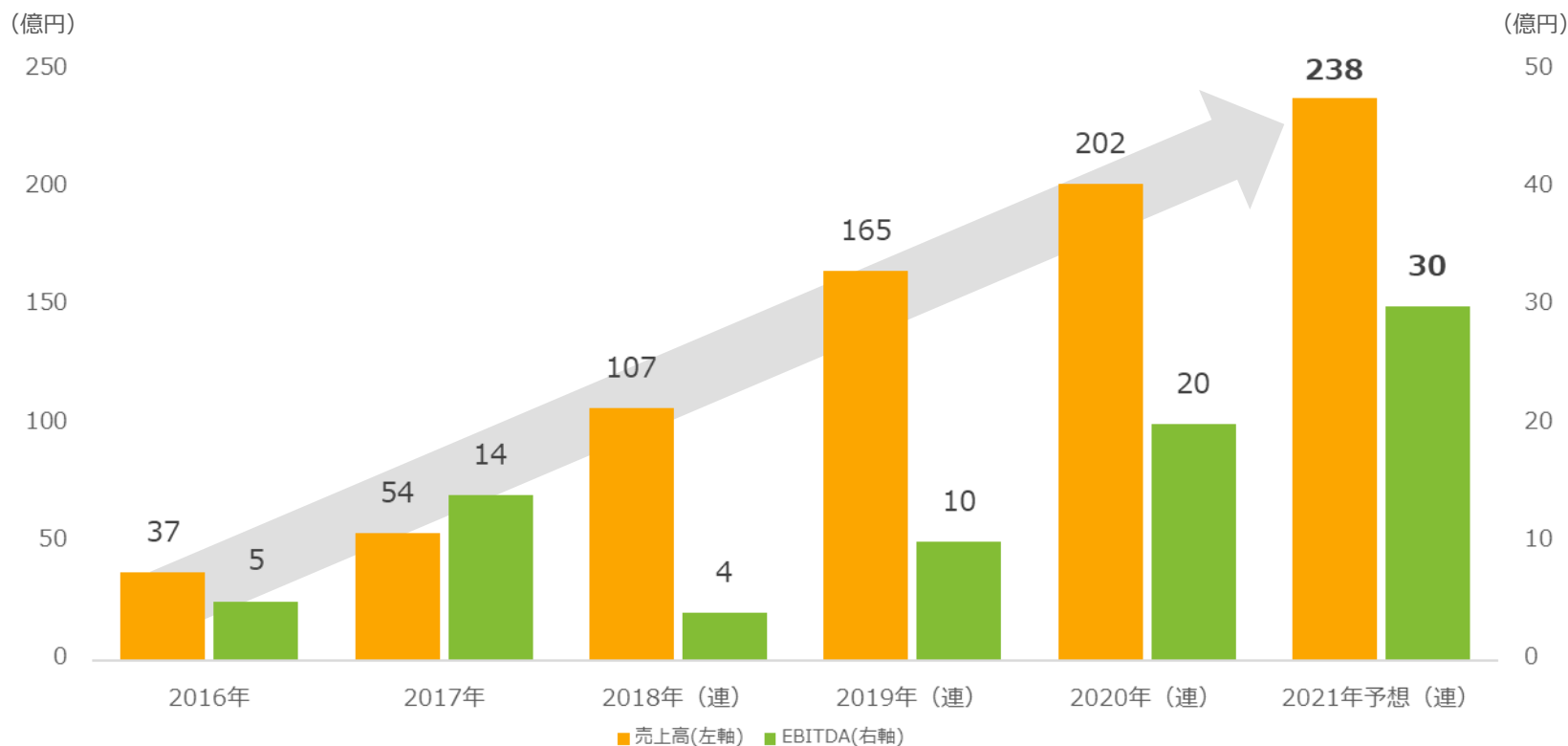


3. 成長戦略と事業概要

「ポイントメディア+a」への投資を継続、中長期成長へ



5カ年計画最終年度 売上高:238億円 利益(EBITDA) : 30億円

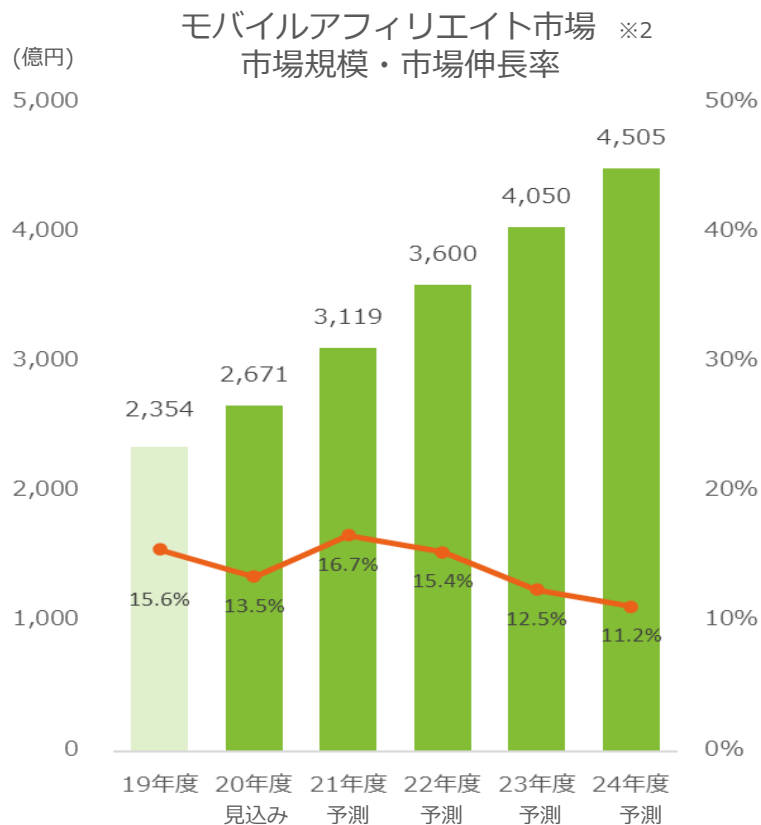


※ 1 : EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失
※ 2 : 2018年以前のEBITDAの数値は「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」適用後の数値を記載しております。



セレス モバイルサービス (ゆめみ除く)

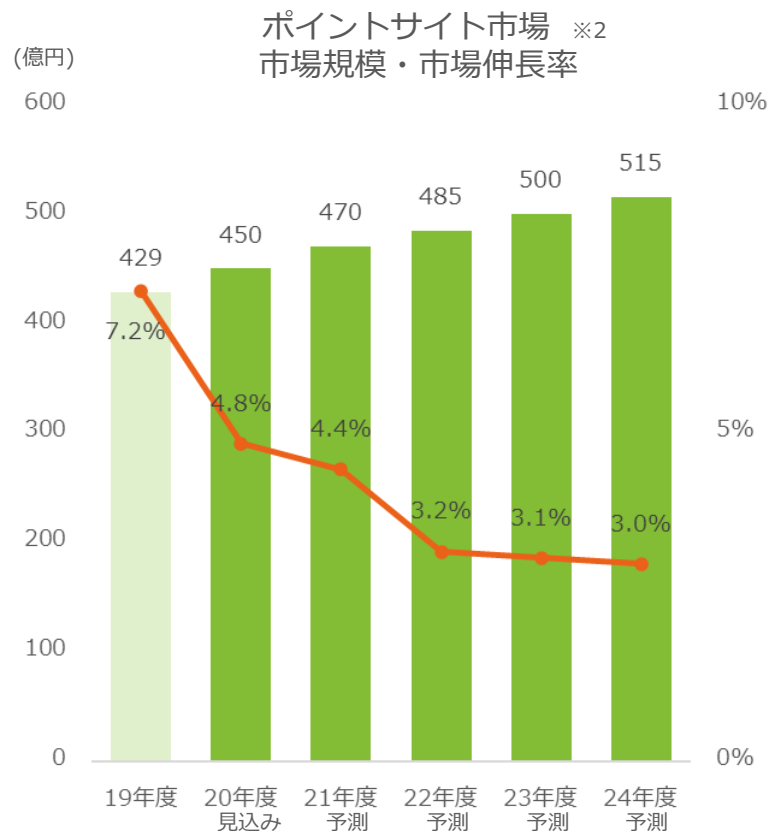
CAGR : 55.3% ※1



■ 市場規模 (左軸) —●— 市場規模成長率 (右軸) ※左右グラフ共通

セレス ポイントメディア

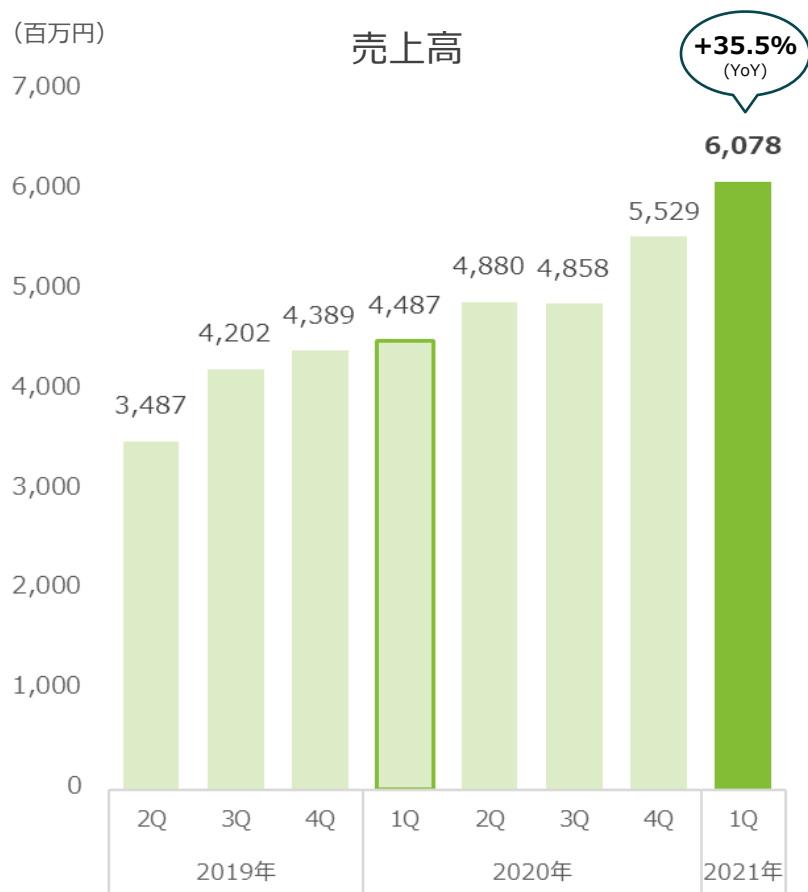
CAGR : 18.3% ※1



※1 : CAGRは2017年から2020年の売上高年平均成長率

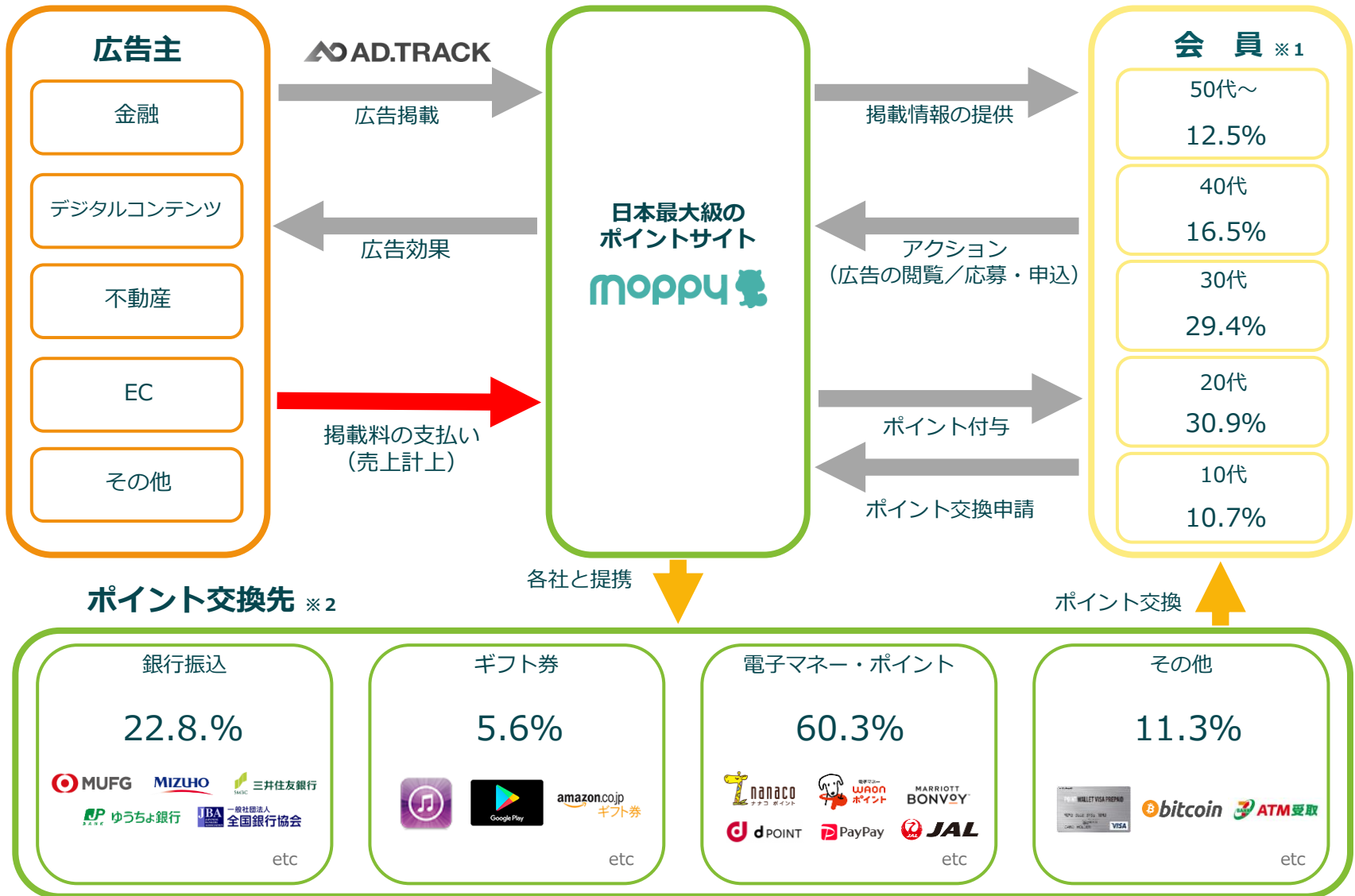
※2 : 矢野経済研究所「アフィリエイト市場の動向と展望2021」

ポイントを中心に全事業が好調に推移し過去最高売上高を更新
ポイントの好調により営業利益は前年比およそ2倍の78.5%増



※ 「資金調達プロ」をモバイルサービス事業からフィナンシャルサービス事業へセグメント変更しております

ポイントメディアについて

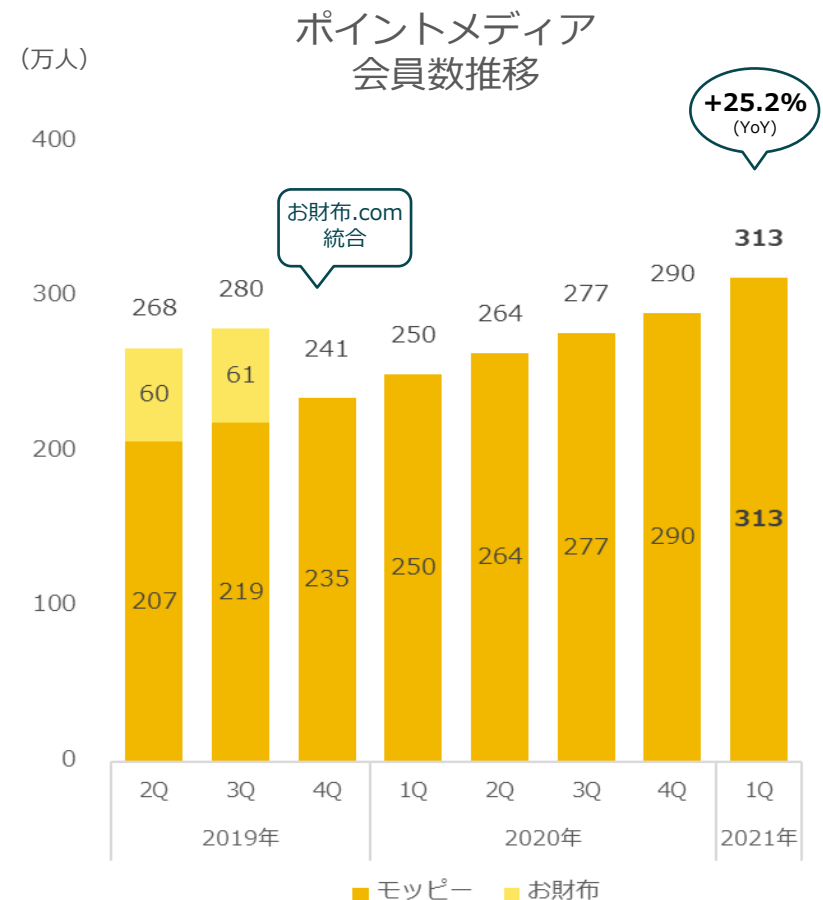
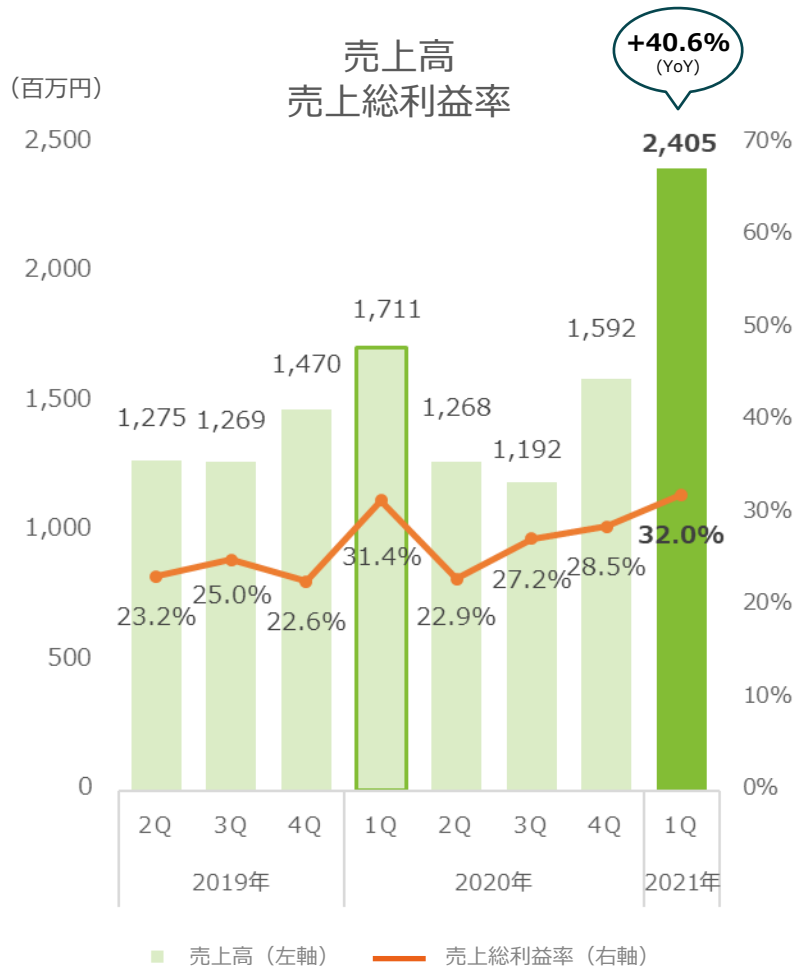


※ 2 : 2021年1~3月に発生したポイント交換割合

※ 1 : 2021年3月末日時点の割合

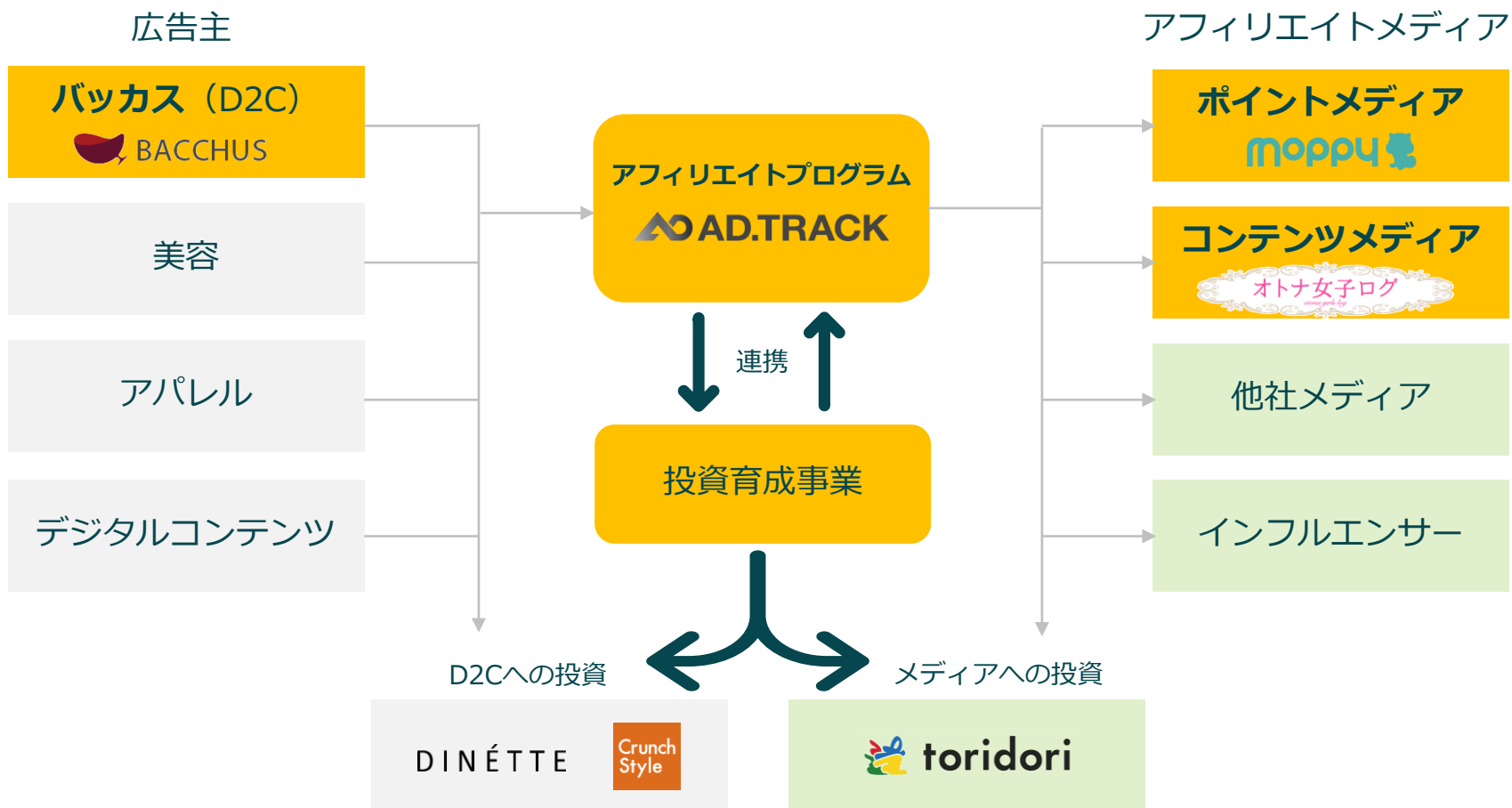
ポイントメディアの業績推移

昨年のコロナ禍ショックから復調し年度末予算を取込み成長軌道に戻る
金融関連など幅広い業種で広告主・広告単価・広告予算が増加基調に



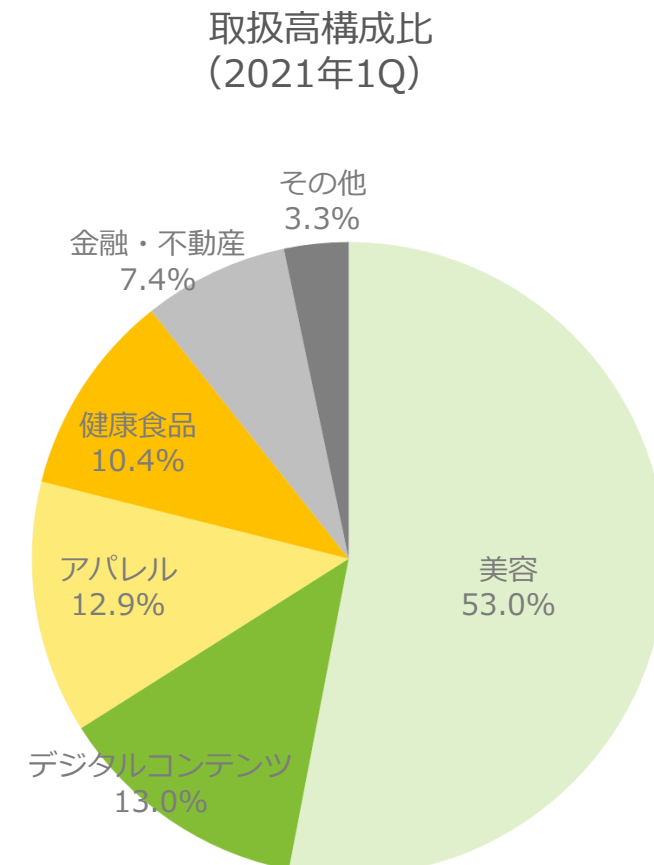
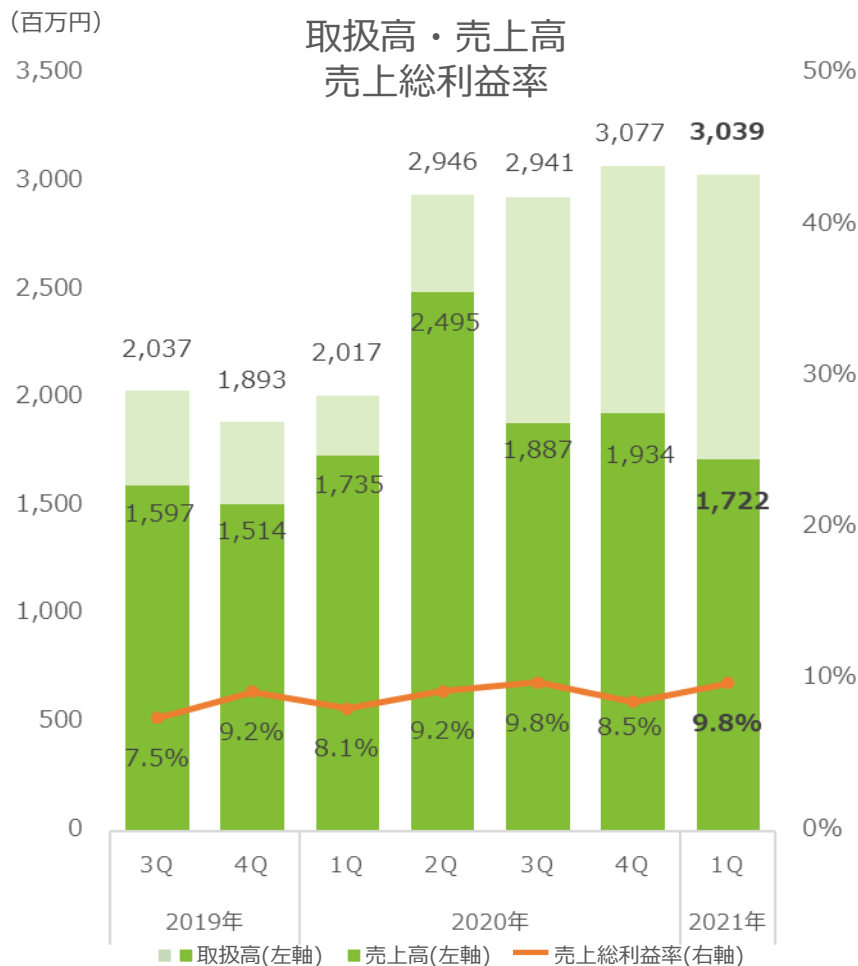
アフィリエイトプログラムについて

自社メディアの媒体力を活かしアフィリエイトプログラムを拡大
投資育成事業と連携しD2C・メディア系ベンチャーへ投資し事業提携



アフィリエイトプログラムの業績推移

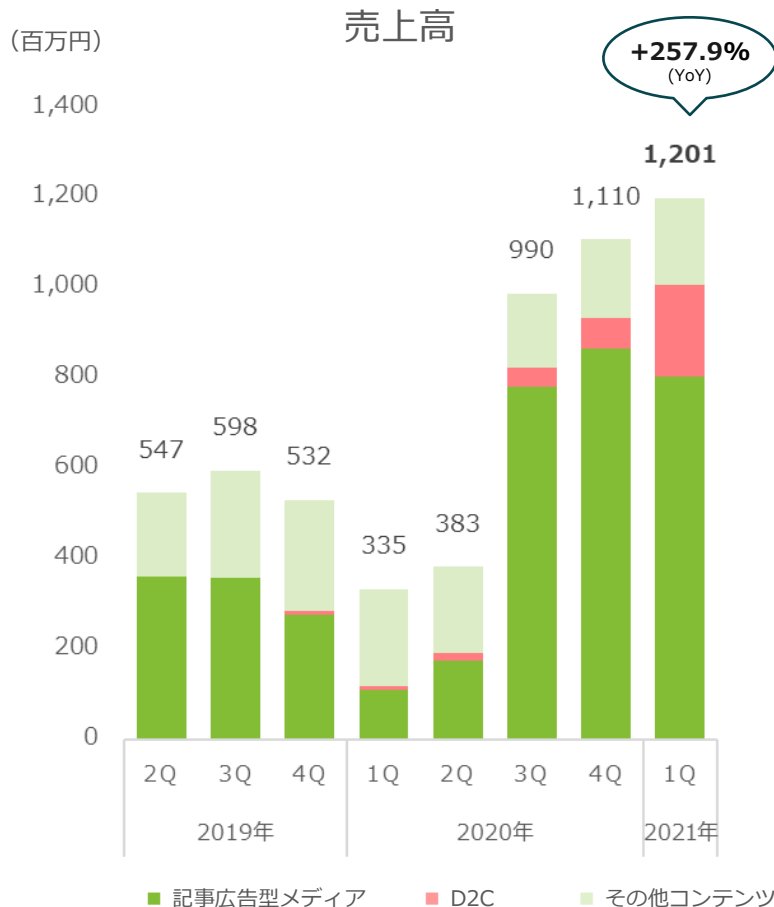
取扱高は自社メディアによる美容商材増加により前年同期比50.7%増
 売上高は自社メディア注力により前年同期比減収も粗利率は改善し粗利益増



※ モバイルサービス事業内取引を2021年1Qより考慮し集計

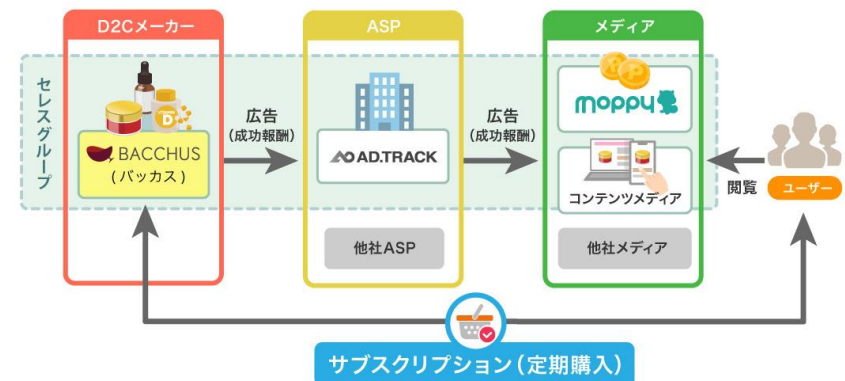
コンテンツメディアの業績推移

記事広告型メディアは広告運用ノウハウの蓄積により堅調に推移
D2C事業は前四半期の先行投資により大幅増収に成功し黒字化に



D2C (Direct to consumer)

- ・ 定期購入新規顧客の獲得を強化
- ・ 顧客継続率UP・クロスセル強化によりLTV向上
- ・ モッピー・アドトラックとの連携を強化
- ・ 年内に3件の新商材を発売予定



※ 「資金調達プロ」をモバイルサービス事業からフィナンシャルサービス事業へセグメント変更しております

ゆめみについて

会社概要

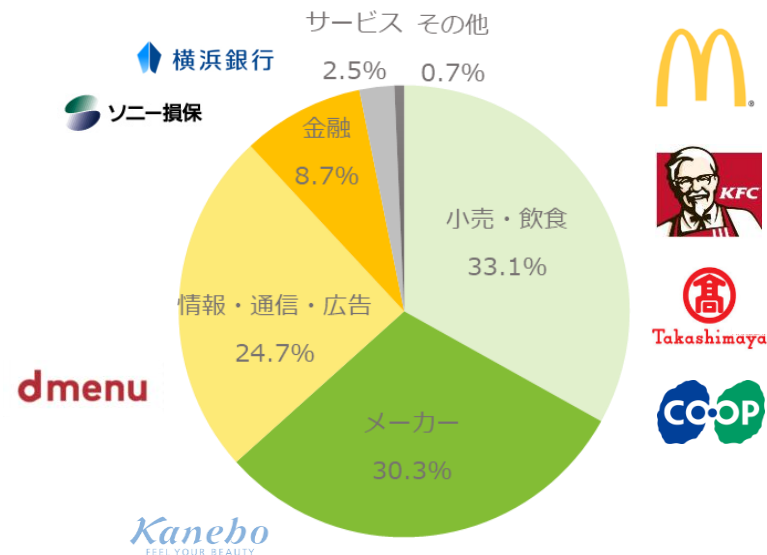
設立年月日：2000年1月27日
決算期：12月
資本金：100百万円
代表者：片岡 俊行
従業員数：239名（2021年3月末現在）
事業内容：企画・開発・コンサルティング
オムニチャネルマーケティング支援
自社サービス運営
2016年 セレス資本業務提携
2018年 セレス連結子会社化

BnB2C

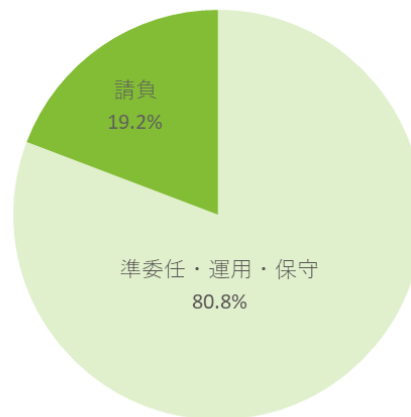
- 企業の方針／戦略を共有し対等な関係で企画
- エンドユーザー向けのネットサービス展開



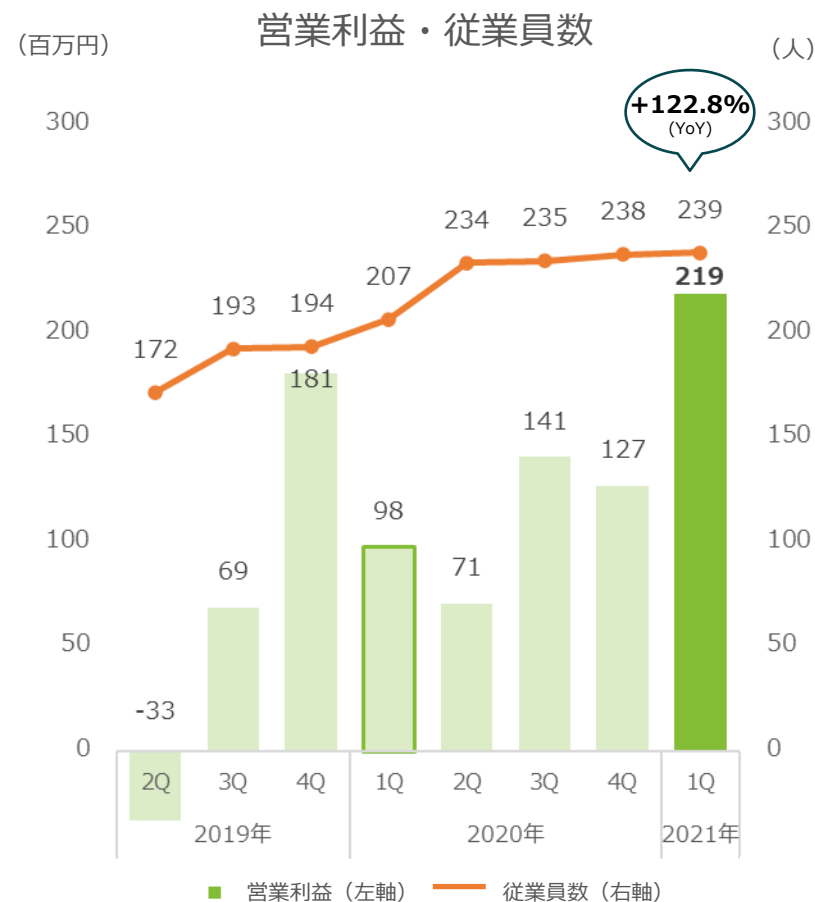
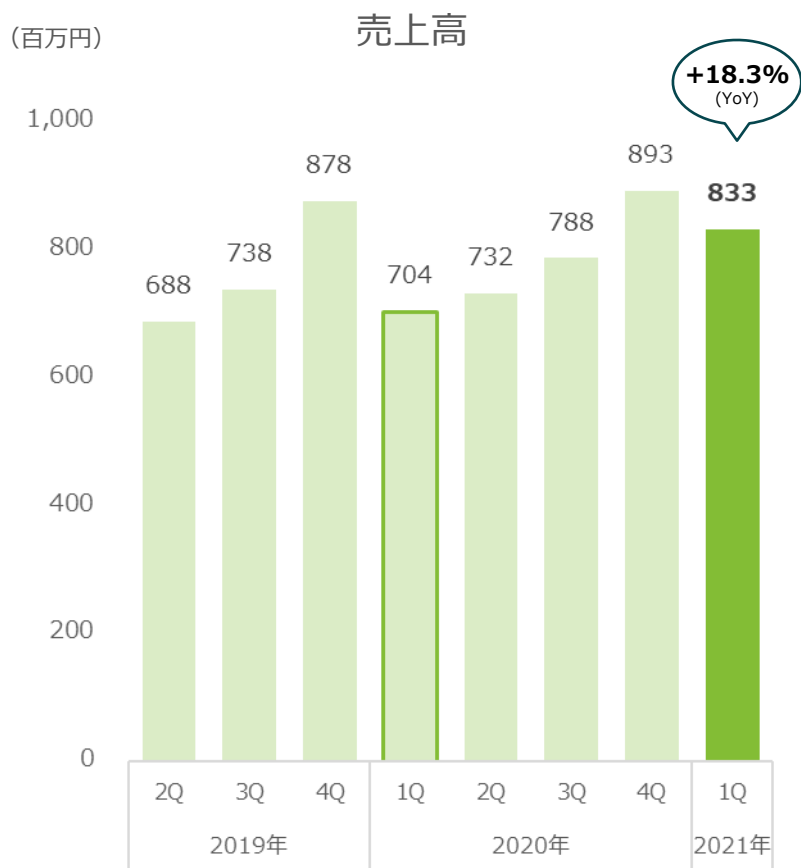
顧客業種別割合(2021年 1Q)



2021年セグメント別売上高 (2021年1Q)



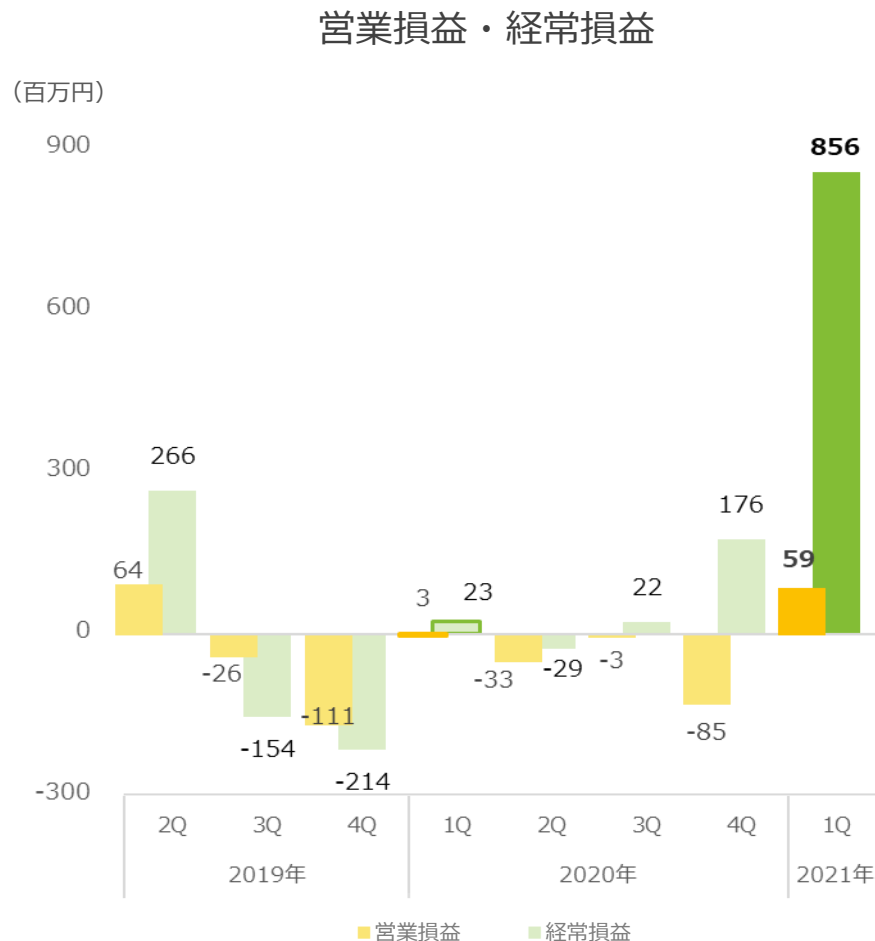
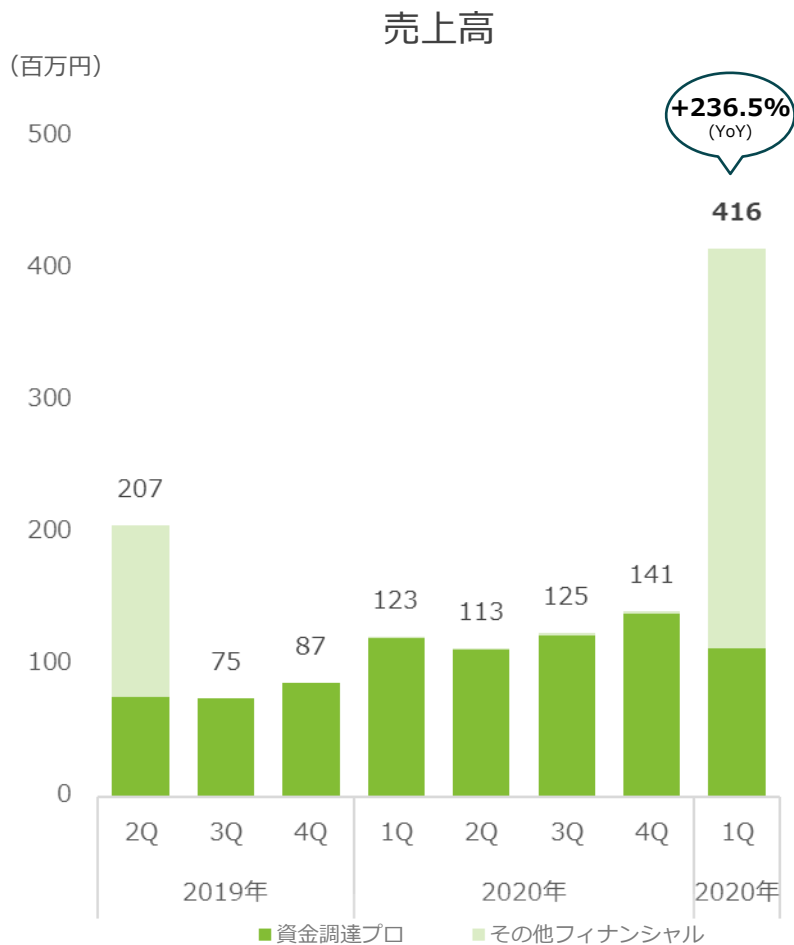
企業のDXニーズの高まりにより売上高は前年比18.3%の増収
増収効果・エンジニア稼働率の改善・オフィス削減により大幅増益達成



※公表数値については、連結前の単体数値で表記しています。

※2020年1Qから、連結子会社四季デザインの従業員数を含んでいます。

投資育成事業の一部株式売却によりマーキュリーの先行投資を吸収 ビットバンクの好業績と暗号資産評価益が寄与し大幅経常増益に



※ 「資金調達プロ」をモバイルサービス事業からフィナンシャルサービス事業へセグメント変更しております

暗号資産販売所を運営するブロックチェーン戦略の中核子会社
2月17日暗号資産交換業登録が完了・3月15日CoinTrade開業



国内最大規模の現物暗号資産取引所を運営（持分法適用関連会社） 暗号資産市場の活況とともに取引シェアが拡大し連結業績に貢献

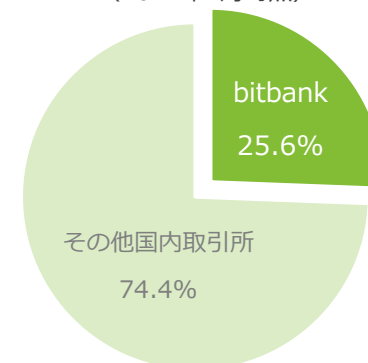
- ✓ 2020年末からの暗号資産価格上昇に伴い、資金流入及び資産効果により預かり資産が増大し2,898億円に到達
- ✓ 価格上昇に伴い現物取引高シェアも拡大
- ✓ アルトコインでの現物取引高シェアでは業界圧倒的トップに

預かり資産残高推移

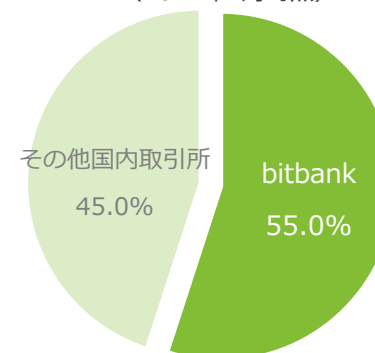


※ bitbank「直近のbitbank預かり資産推移（日次）」2021年4月13日発表のビットバンクリリースより

国内現物取引高シェア
(2021年2月時点)



国内現物取引高シェア(アルトコイン)
(2021年2月時点)



※JVCEA統計情報より抽出可能なデータをもとにbitbank上場銘柄に関する現物取引高シェアを算出



D2C・ブロックチェーン関連を中心にセレスとの協業を前提に投資
インキュベーションへの新規投資を行うとともに一部株式売却を実施

(2021年3月末)



モバイルサービスと連携

メディア・D2C関連

DINÉTTE Waqoo SYRUP Crunch Style
toridori Patis Coffee flicfit 1SEC

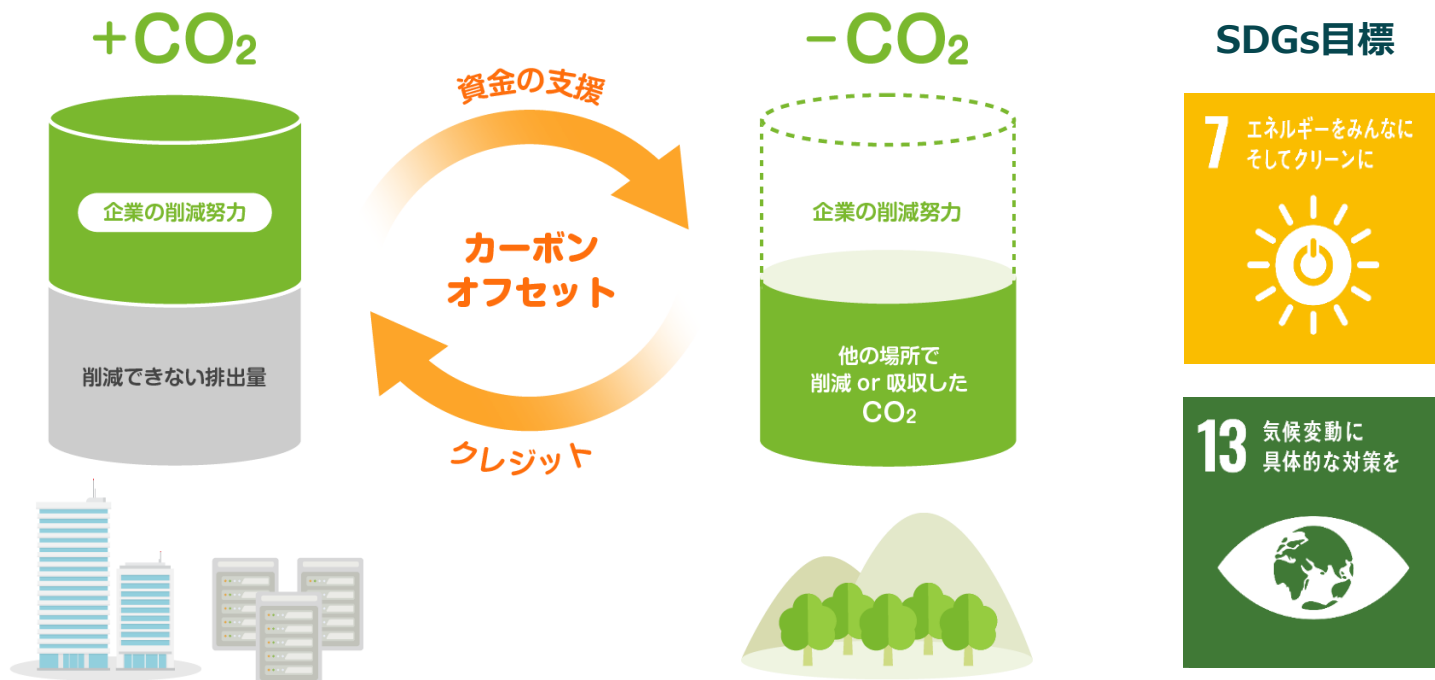
フィナンシャルサービスと連携

フィンテック・ブロックチェーン関連

CAMPFIRE sivira SmartApp orb
Infcurion BRD GINKAN HashPort

セレスグループは2021年度から「カーボンニュートラル」の実現へ政府目標の2050年に先立ち2021年からカーボンニュートラルを達成

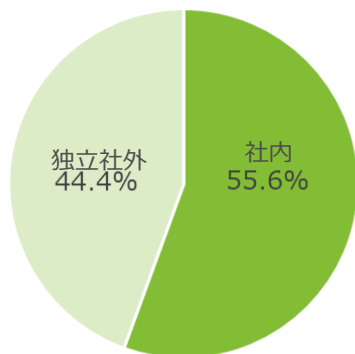
ポイントサイト「モッピー」をはじめグループのWebサービスで使用されるサーバーやオフィスで使用される電力に伴う排出CO₂の100%オフセット



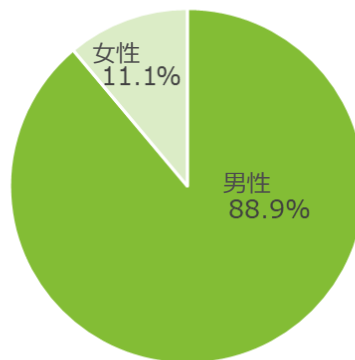


コーポレートガバナンスの取組強化により中長期的な企業価値増大へ
持続的成長のためにジェンダー平等などダイバーシティの充実を推進

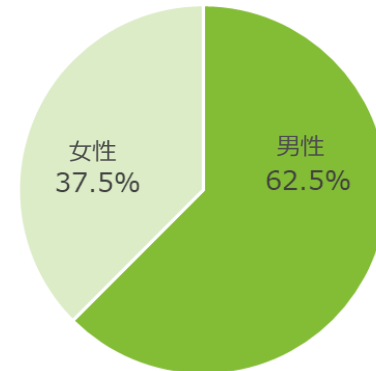
セレス取締役
独立社外取締役比率



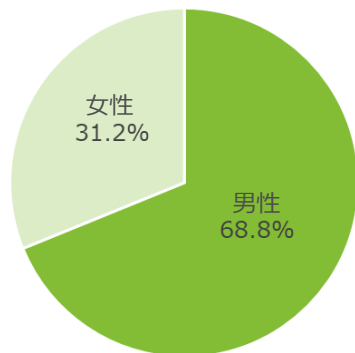
セレス取締役
男女比



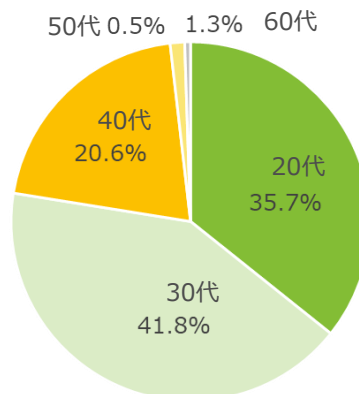
セレス管理職
男女比



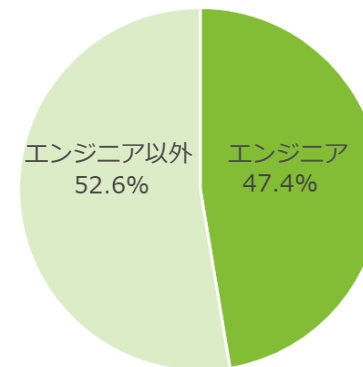
セレスグループ
男女比



セレスグループ
年代別



セレスグループ
エンジニア比率

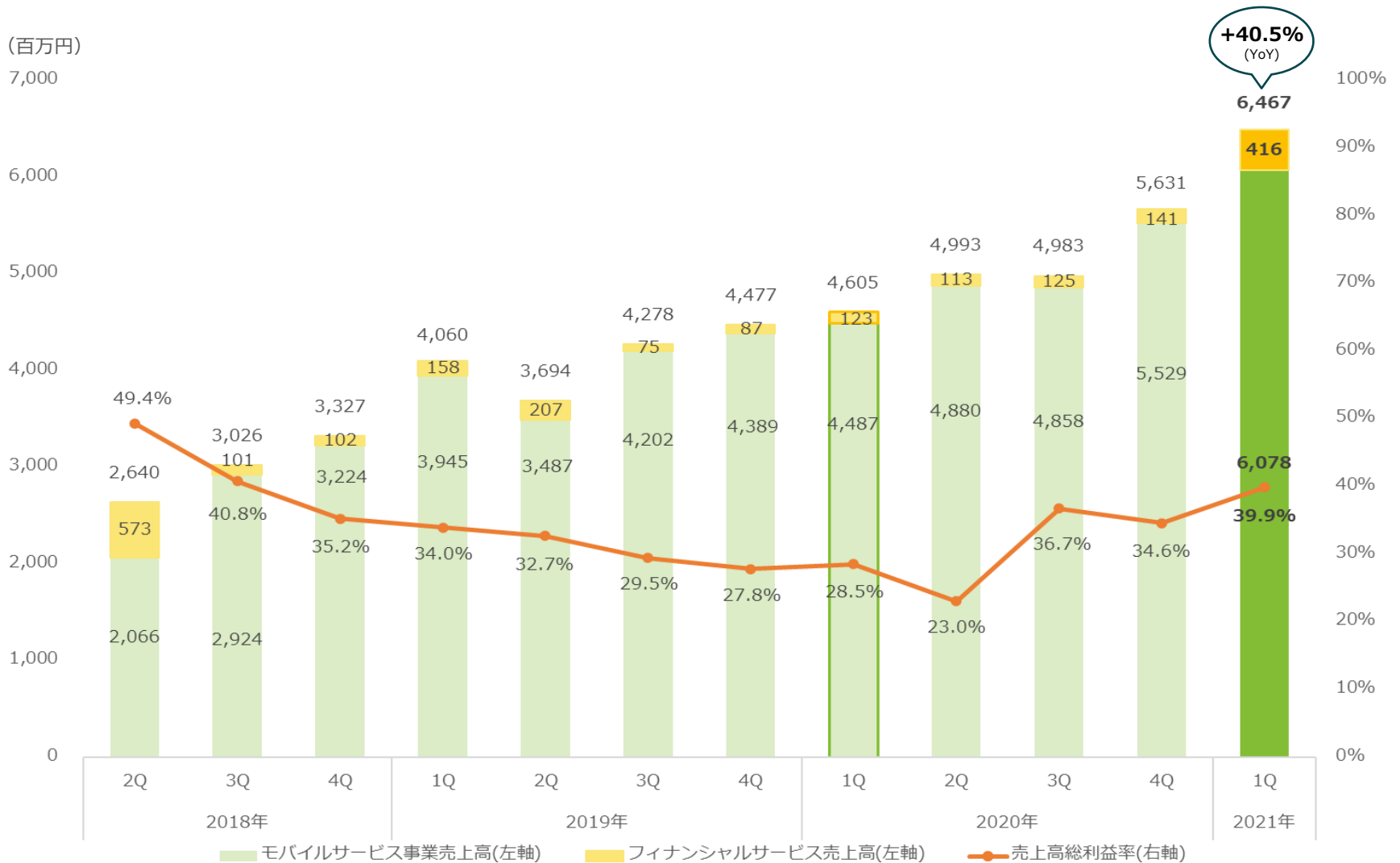




4. APPENDIX

※集計方法の見直しにより、過去決算説明資料で開示していました数字を修正しています。

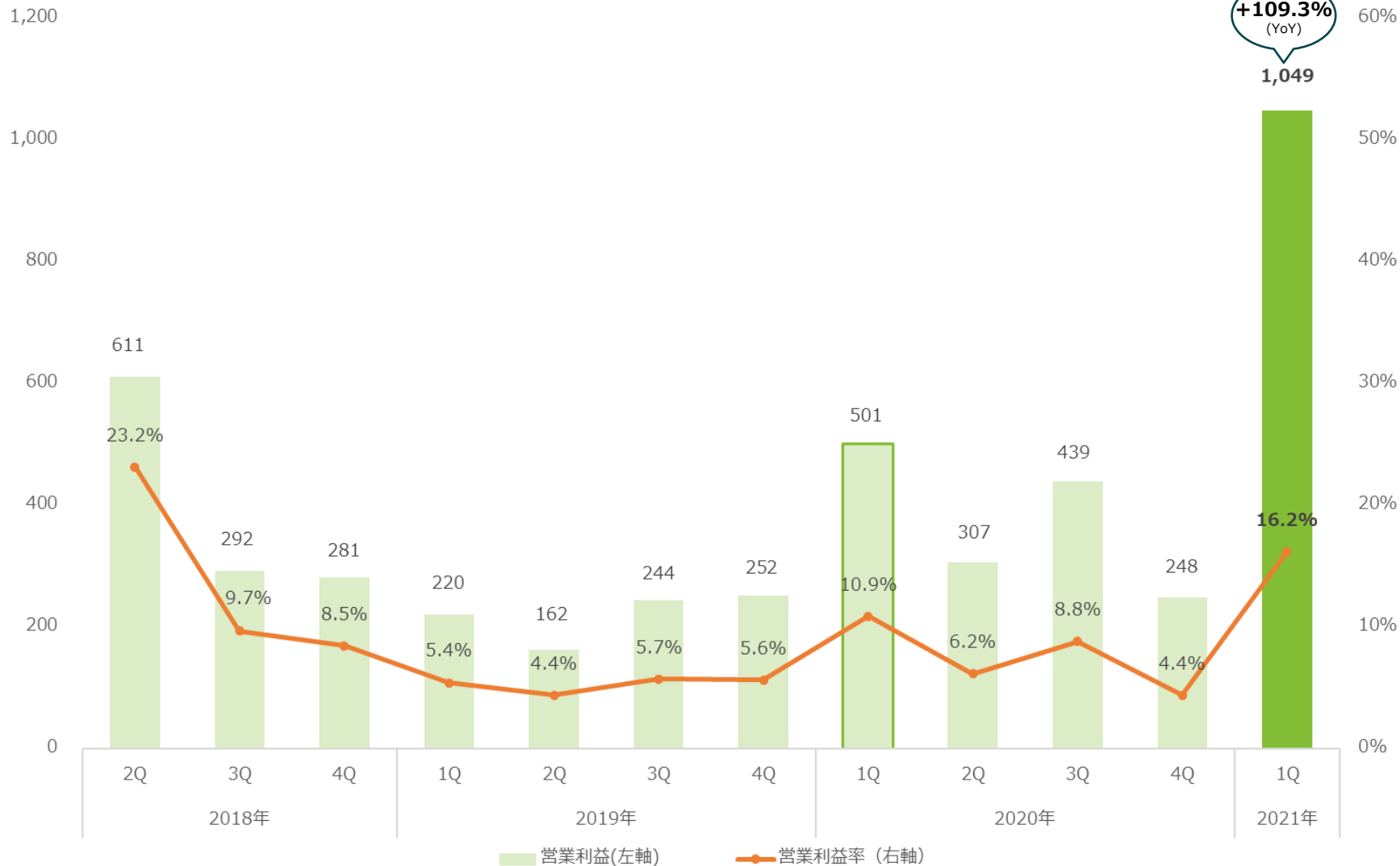
四半期売上高推移



※セグメント間の内部売上高又は振替高については、グラフに与える影響が軽微のため表記していません。
 ※「資金調達プロ」をモバイルサービス事業からフィナンシャルサービス事業へセグメント変更しております

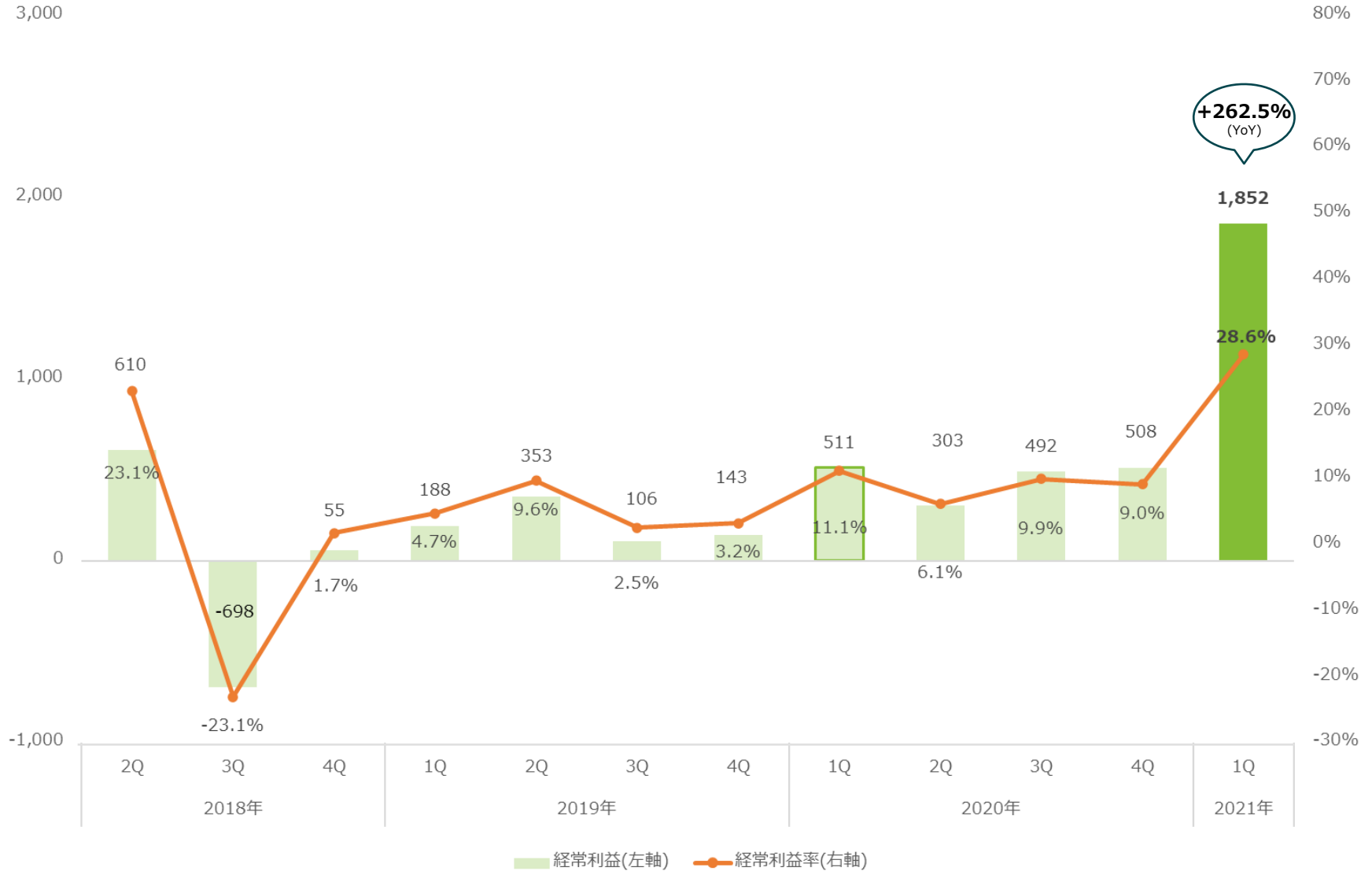
四半期営業利益推移

(百万円)



四半期経常損益推移

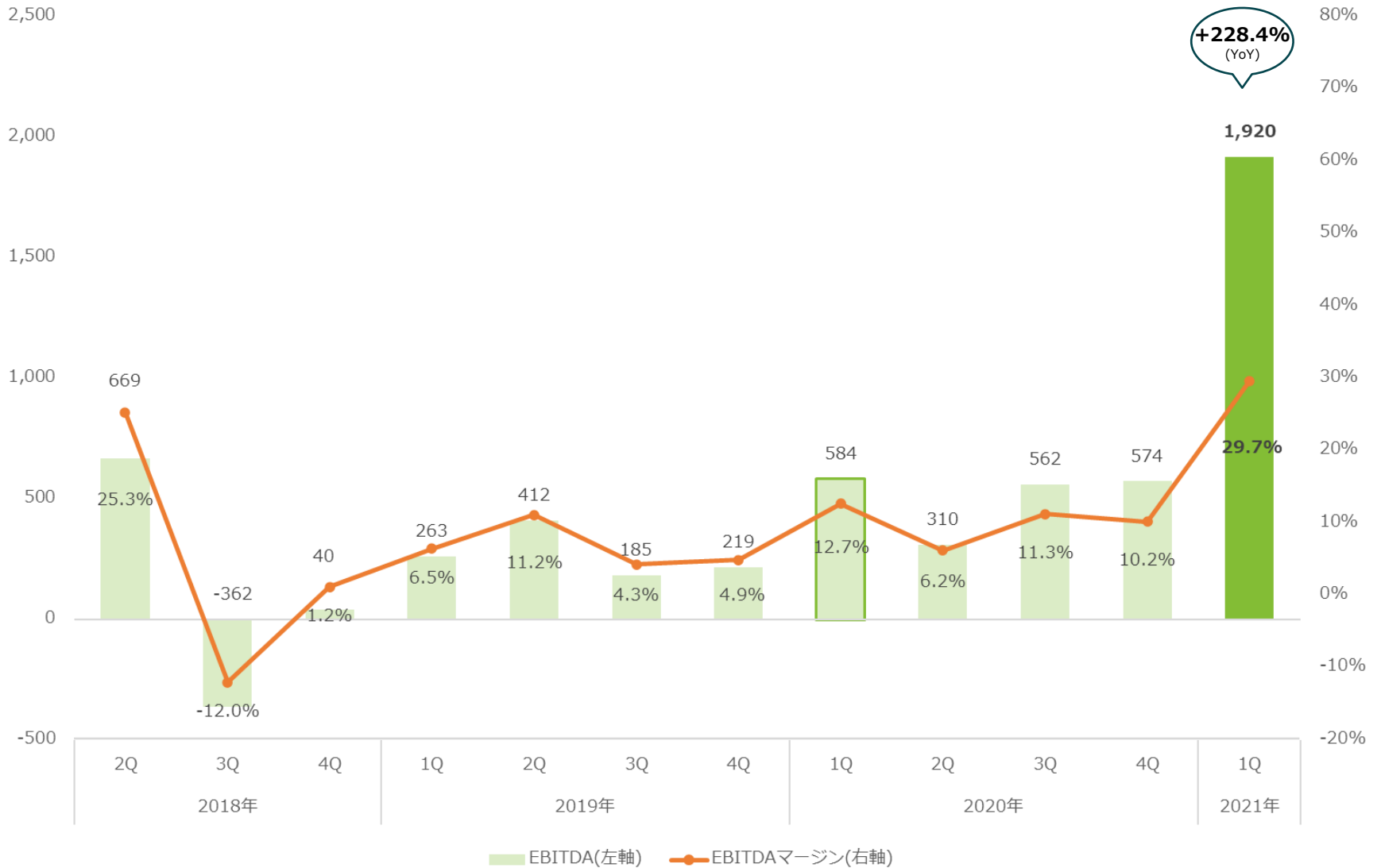
(百万円)



※2018年以前の経常損益の数値は「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」適用後の数値を記載しております。

四半期EBITDA推移

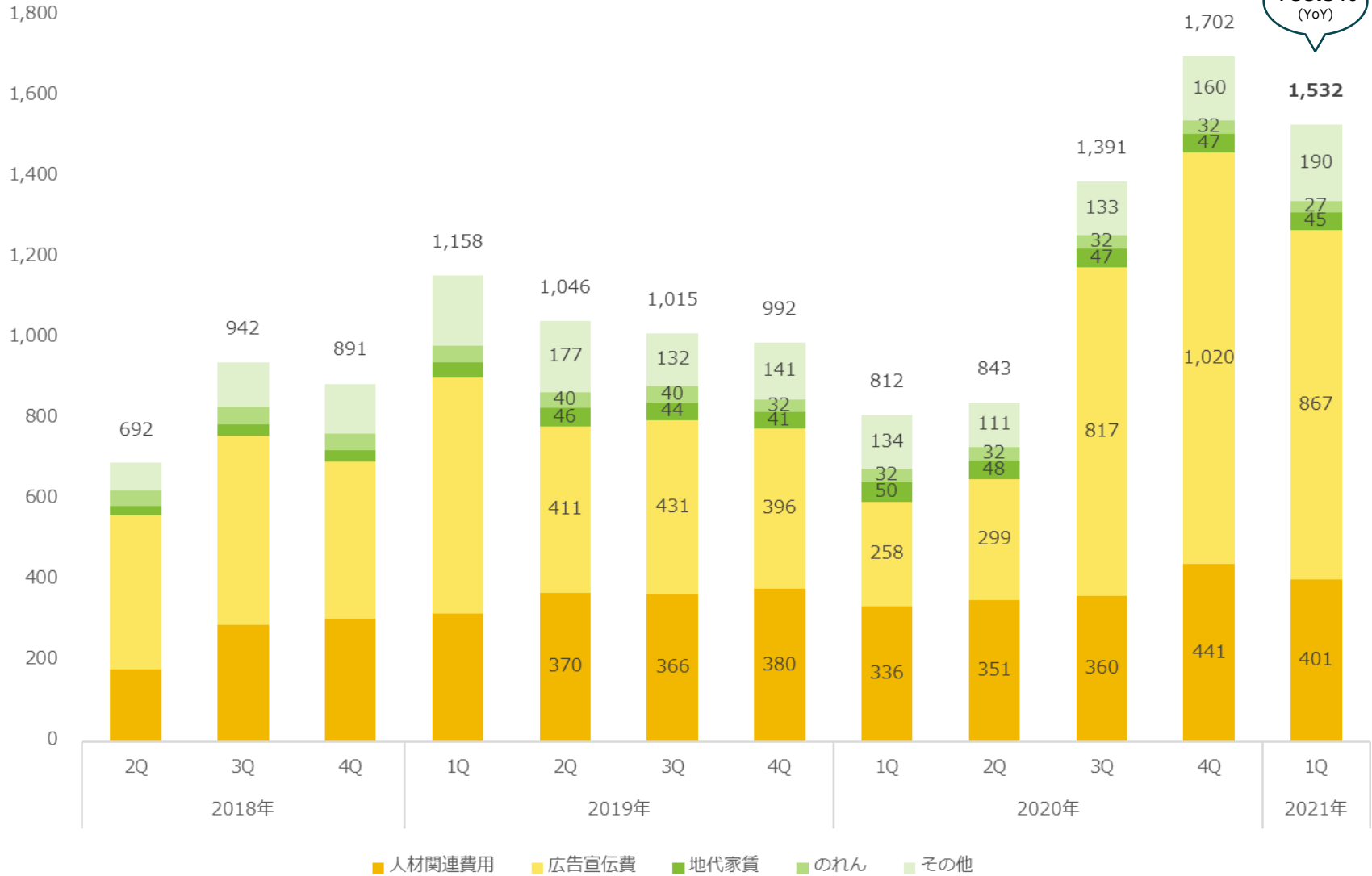
(百万円)
2,500



※2018年以前のEBITDAの数値は「資金決済法における仮想通貨の会計処理等に関する当面の取扱い」適用後の数値を記載しております。

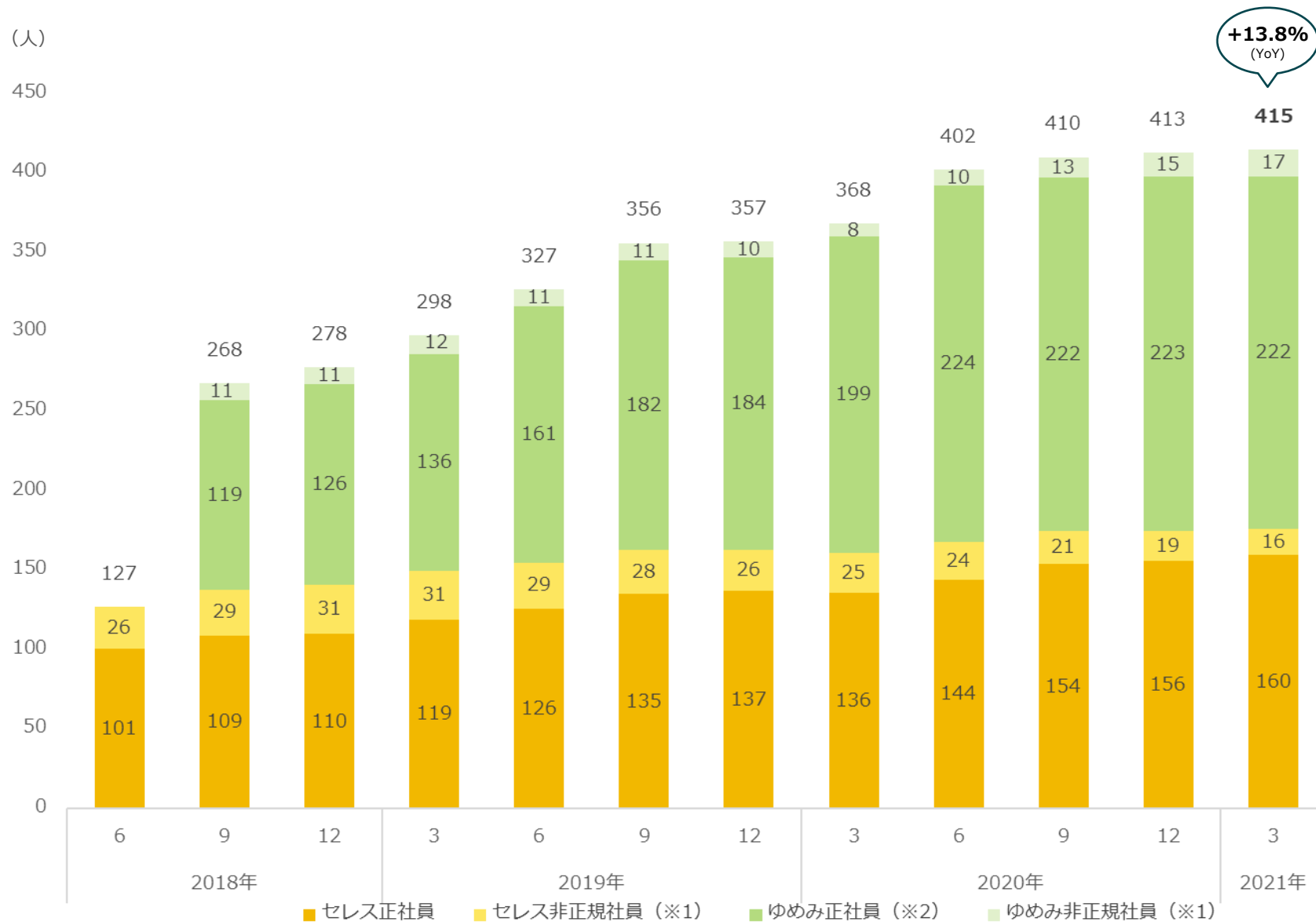
四半期販売費及び一般管理費推移

(百万円)



+88.5%
(YoY)

従業員数推移



+13.8%
(YoY)

※1：契約社員、派遣社員、アルバイト

※2：2020年3月末より、連結子会社四季デザインの従業員数を含んでいます。

業績ハイライト

四半期売上高

(単位：百万円)	2019年			2020年				2021年
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	3,694	4,278	4,477	4,605	4,993	4,983	5,631	6,467
モバイルサービス事業	3,487	4,202	4,389	4,487	4,880	4,858	5,529	6,078
ポイントメディア	1,275	1,269	1,470	1,711	1,268	1,192	1,592	2,405
アフィリエイトプログラム	1,007	1,597	1,514	1,735	2,495	1,887	1,934	1,722
コンテンツメディア※1	547	598	532	335	383	990	1,110	1,201
ゆめみ	657	737	872	704	732	788	893	833
セグメント内の振替高※2	-	-	-	-	-	-	-	-84
フィナンシャルサービス事業※1	207	75	87	123	113	125	141	416
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-6	-1	-0	-40	-27

四半期営業利益

(単位：百万円)	2019年			2020年				2020年
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業利益	162	244	252	501	307	439	248	1,049
モバイルサービス事業	279	458	582	690	534	670	557	1,231
フィナンシャルサービス事業	64	-26	-111	3	-33	-3	-85	59
調整額	-182	-187	-218	-192	-193	-227	-223	-242

※1 「資金調達プロ」をモバイルサービス事業のコンテンツメディアからフィナンシャルサービス事業へセグメント変更

※2 モバイルサービス事業内取引を2021年1Qより考慮し集計



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。